

浄水器「マグ・ソフィア」通水試験結果報告書

株式会社環境分析技術センター

〒838-0043 福岡県筑紫野市むさしヶ丘1-23-16

試験責任者 宮原 博成

濃度計量証明事業登録機関(福岡県知事 第78号)

建築物飲料水水質検査業登録(福岡県知事 第86号)



1. 試験概要

本試験では、浄水器「マグ・ソフィア」に最大 50,000ℓの水道水を通水し、残留塩素の除去効果を調べる。

- (1) 履行期間：2022年6月5日(日)～2022年6月13日(月)
- (2) 浄水器型式：マグ・ソフィア
- (3) 試験場所：(株)環境分析技術センター内 分析室流し台



左図：浄水器「マグ・ソフィア」設置状況

2. 試験方法

①浄水器通過前の水道水、②浄水器 40,000ℓ通過後の水、③浄水器 50,000ℓ通過後の水、合計 3 試料の残留塩素を測定し、比較する。以下表に通水開始からの作業の流れを示す。(なお、採水した 3 試料は水道水質基準全項目(51 項目)の水質検査も同時に実施した。)

	作業内容
通水開始 ↓	浄水器の <u>ろ過流量を 7L/min に設定</u> し、試験開始
20,000ℓ通水後 ↓	浄水器の <u>逆流洗浄</u> を実施
40,000ℓ通水後 ↓	浄水器の <u>逆流洗浄後、試料を採水</u> (試料は即日分析部へ搬入し、水質検査を開始) ※同時に <u>浄水器通過前の水道水も採水</u> し分析部へ搬入
50,000ℓ通水後	浄水器の <u>逆流洗浄後、試料を採水</u> (試料は即日分析部へ搬入し、水質検査を開始)

3.作業状況

各作業の状況写真を下図に示す。

	量水器	逆流洗浄・採水作業	採水試料
20,000ℓ 通水後			
40,000ℓ 通水後			
	※同時に浄水器通過前の 水道水も採水→		
50,000ℓ 通水後			

4.試験結果

採水した3試料の残留塩素を測定した結果、浄水器通過前の水道水の測定値が0.3mg/Lであったのに対し、40,000ℓ通過水及び50,000ℓ通過水の測定値はどちらも定量下限値未満(0.1mg/L未満)であった。このことから、水道水の残留塩素は、浄水器「マグ・ソフィア」を使用することにより、定量下限値未満レベルの濃度まで除去されることが確認された。

下表：測定結果比較

検査項目	浄水器通過前 (筑紫野市水道水)	浄水器40,000ℓ通過水	浄水器50,000ℓ通過水
残留塩素	0.3mg/L	定量下限値未満 (0.1mg/L未満)	定量下限値未満 (0.1mg/L未満)

※定量下限値未満とは、測定可能な最低濃度(定量下限値)を下回ることをいう